



文化財つれづれ

氷川町内の文化財を紹介するコーナーです。

いられているのは女性の火の神さまで、鏡が二面立てられています。カンノキさんのいわれはよくわかっていません。その昔この地区に火事があった、それからお祀りするよ



北川地区の公民館から150mほど山手に上った竹やぶの中に、小さな広場があります。そこにはワラと竹を材料とした祠が鎮座しています。直径約2・4m、高さ約1・7mの円錐形で、入口がないため通常は中の様子はわかりません。毎年12月15日に新しい祠に作り替えられます。祀

北川のカンノキさん

(町指定有形民俗文化財)

うになったそうで、それからは火事がないそうです。火を祀る行事は特に珍しいことではありませんが、現在はほとんどコンクリート等作り変える必要のない祠に変わってしまいました。そんな中で、カンノキさんは昔ながらの素朴な伝統が受け継がれています。

【お問い合わせ先】 氷川町教育委員会生涯学習課 ☎52-5860(直通)

新刊図書

一般書	児童書
三世代探偵団 赤川 次郎/著	妖怪めぐり日本一周 妖怪探検隊/編
ミステリークロック 貴志 祐介/著	未来をはこぶオーケストラ 岩井 光子/作
アナログ ビートたけし/著	文房具のひみつ箱 スタジオ248/編
花になるらん 玉岡 かおる/著	だまし絵ようちえん 竹内 龍人/監修
世界一美味しい煮卵の作り方 はらぺこグリスリー/著	生き物たちの冬こし図鑑 昆虫 星 輝行/作

開館時間

平日
10時～18時
(木曜日 10時～20時)
土・日曜
10時～17時

休館日

月曜・祝日
※詳しくはスタッフにお尋ねください。

●直木賞
『月の満ち欠け』

佐藤 正午

●芥川賞
『影裏』

沼田 真佑

●本屋大賞 2位
『みかげ』

森 絵都

●本屋大賞 大賞
『蜜蜂と遠雷』

恩田 陸

今年の主な文学賞受賞作

師走に入り、平成29年も残すところ僅か一ヶ月となりました。そこで、この一年間を読書で振り返ってみませんか？

みなさん、もう読まれましたか？
※クリスマスやお正月に役立つ料理本もとりそろえております。

八火図書館だより



【お問い合わせ先】 八火図書館 ☎62-3489 <http://www.hikawa-lib.jp/info/hakka/>

立神峡だより

今年は観光客が大幅に増加

スタッフ一同立神峡公園の環境美化に精力的に取り組んでおり、立神峡をよく知る人たちから「きれいになりよく整備されている」とのお声をいただいています。スタッフもその声をいただくたびに もっと頑張ろうと意気込んでいます。

今年は昨年に比べて、観光客が大幅に増えており、特にクルーズ船の八代外港への寄港により、中国人を始め、韓国・ベトナムの人たちが訪れるようになっており、国際的になりつつあります。今後は、外国人向けの看板の作成やパンフレットの準備などが必要になりそうです。



常葉保育所や子育て支援センターの子供たちが立神峡に来園

11月1日、秋の自然体験で年長さん年中さん25名と子育て支援センターの子供たちが立神峡公園を訪れました。公園に到着し、大きな声であいさつをした後、目の前に広がるどんぐりの実を拾いながら公園を散策し、その後、河原に移動してそれぞれに石を拾いながら火打石を体験しました。焦げ臭い石が火打石と聞くと一生懸命に石と石をこすり合わせては匂いを嗅いでいました。その後、石に絵を描きながら楽しそうにお互いに見せ合っていました。



竜北西部小4年生が水生生物調査に挑戦

11月2日、竜北西部小の4年生40名が立神峡公園を訪れ、「自然がいっぱいの氷川にしよう」を合言葉に氷川の水生生物調査に挑戦しました。水が冷たいため、恐る恐る入っていましたが、石を転がしたりして水生生物を捕獲すると大きな歓声上がり、その生態に感動していました。持ち帰り、その名前を確認したり、先生の話も熱心に聞くなどして氷川の水質の綺麗さに改めて感心していました。



【お問い合わせ先】立神峡公園管理棟
☎ 62-1543 FAX62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページアドレス
<http://tategami-camp.com>